

お知らせ

令和8年度栗原市職員採用試験(初級・障害者)

市民の身近な行政サービスを支える職員を募集します。多岐にわたる行政需要に対応するため、皆さんの力を必要としています。ぜひ、応募してください。

- 申込期限 8月31日(月)必着
● 第1次試験日 9月20日(日)
● 試験会場 市役所
● 試験方法 第1次試験の後、合格者を対象に、第2次試験を行います。
● 職種、採用人数 初級(高校卒業程度)
○ 行政 15人程度
○ 行政(障害者) 数人程度
○ 土木 数人程度
○ 消防 数人程度
※今後変更する場合があります。
● 申し込み 試験案内と申込書は、人事課、各総合支所市民サービス課で配布します。市ウェブサイト専用フォームから電子申請または申込書に必要事項を記入の上、問い合わせ先に持参または、郵送で申し込みください。
※受験資格など詳しくは、試験案内または、市ウェブサイトを確認

総務部人事課

栗原市築館築師一丁目7番1号 電話(22)1159



栗原市病院事業職員採用試験(行政職)

- 申込期限 8月31日(月)必着
● 第1次試験日 9月20日(日)
● 試験会場 栗原中央病院
● 試験方法 第1次試験の後、合格者を対象に、第2次試験を行います。
● 職種、採用人数 行政職(初級) 数人程度
● 採用日 令和9年4月1日
● 申し込み 試験案内と申込書は、栗原中央病院2階医療管理課で配布します。
申込書に必要事項を記入の上、問い合わせ先に直接持参または、郵送で申し込みください。
※詳しくは、市ウェブサイトを確認
● 医療局医療管理課
〒987-2205
栗原市築館宮野中央三丁目1番地1 電話(21)5631

農作業安全確認運動実施中

9月30日(水)まで農作業夏の熱中症等声かけ期間です。農作業時は、次のことに注意し、熱中症を予防しましょう。
● 熱中症対策の実践・確認項目
○ 農作業前にストレッチやウォーキングをしたり、入浴で暑さに慣れる
○ 農作業を始める直前に冷たい飲み物やタオルなどで体を冷やす
○ 20分おきに休憩し、のどが渇いていなくてもコップ1杯〜2杯を目安に水分を補給する
○ 単独作業をできるだけ避ける。また、単独作業をする場合は家族で定期的

に確認する
○ ファン付きウェアやネットクローラーなどの対策アイテムを活用する
● 代表的な熱中症の症状
汗をかかない、体が熱い、めまい、吐き気、頭痛、倦怠感、判断力の低下
● 症状が出た時の応急処置など
○ 作業を中断して涼しい環境に避難する
○ 水分と塩分を補給して、ぬれたタオルなどで体を冷やす

市指定ごみ袋以外の使用可能期間を延長

市指定ごみ袋以外でも、ごみ出しができる期間を延長します。
● 期限 7月31日(金)
● ごみの出し方 市指定のごみ袋を使用できない場合は、次の出し方をしてください。
○ 袋は、中身が見える市販の透明または半透明のビニール袋を使用する。
○ 袋の大きさは、45リットル以内。
○ 表示の記入は、必ず、袋に「もやせるごみ」または「もやせないごみ」と記入する。
● 注意事項 次の袋は使用できません。
○ 黒色などの中身の見えないう袋。
○ 他の市町村の指定ごみ袋。

フリーングシエルトーを開放します

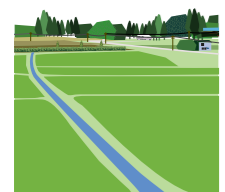
県内で熱中症特別警戒情報が発表された際に、市が指定する施設をフリーングシエルトー(涼める場所)として開放します。ぜひ、利用してください。
● 市民生活部長環境課
電話(22)3350

産業経済部農政園芸課

● 症状が改善しない場合は、医療機関を受診する
● 産業経済部農政園芸課
電話(22)1135

水路やため池などの水難事故に注意

農用水の増加や梅雨や台風による降水量の増加により、水路やため池などが増水する時期です。水の流れも非常に速くなることから、これまで以上に水の事故に注意が必要です。
特に、子どもの水難事故を未然に防止するため、ため池や水路、頭首工、河川からの取水口、ダム、沼などでは、子どもを遊ばせないように注意してください。
● 産業経済部農村整備課
電話(22)1138



市内の文化財散策

⑤ 明治の水準測量と宮城県里程標

今から150年前の明治9年(1876年)に、内務省は東京の豊島から宮城県の塩竈までの水準測量※1を実施し、各地に凡号高低標を設置しました。凡号高低標とは、日本初の近代的な高低測量を行うために設置された水準点です。イギリス人技師の指導を受けて英国式測量が行われたため、イギリスで使用している「不」の字に似ているマークが凡号として採用されました。凡号は、建物や鳥居などの永久構築物※2に刻印されますが、まれに独立した標石に刻印されているものもあります。
現在は、全面的に見ても凡号高低標の残存数は少なくなっていますが、市内には高低標の役割をもつ里程標が1基現存しています。これは、高清水地区にあるもので、明治22年(1889年)に宮城県が陸羽街道に設置しました。仙台芭蕉の辻を起点として北と南に設置され、北は22里の有馬村下大沢田(金成地区)の北端、南は15里の白石市越河まであり、高清水地区にあるものは北14里の地点です。これらの里程標は、高低標に兼用すると記載された文書が残っていて、実際に、高清水地区に設置されている里程標の下部には凡号の刻印があり、凡号高低標としての役割があったことを確認できます。
※1 地上の2点間の高低差や任意の地点の標高を求める測量のこと。
※2 コンクリート、鋼材、鉄骨など耐久性の高い材料で作られ、土地にしっかりと固定されて長期間にわたって使用される建物などのこと。
● 種別 歴史資料
● 教育文化部文化財保護課
電話(42)3515



高清水善光寺の車道入口北側にある凡号高低標

市長随感



栗原市長 佐藤 智

ふるさとに寄せる思い

夏の訪れと共に、各地区の在京ふるさと会が開催され、私も関東に在住されている市出身の皆さんと交流する機会をいただきました。会場には多くの皆さんが集い、久しぶりの再会を喜び合う声や、ふるさとの話題に花を咲かせる姿が見られ、大変にぎやかで和やかな雰囲気にも包まれていました。
参加された皆さんからは、「栗原の話をする時、当時を思い浮かべ、懐かしい気持ちになります」といった声も聞かれ、栗原への深い愛情を感じたところです。また、栗原の近況や地域の話題に熱心に耳を傾け、多くの皆さんが故郷の発展を気に掛けていることを、大変心強く感じました。ふるさと栗原への温かな思いに触れることができ、人と人とのつながりの大切さを改めて実感



▲6月7日に開催された東京高清水会